



世界の子どもたちの食糧支援



国連WFPミャンマー共和国事務所長が当社を訪問！店頭募金を通じた支援の活動報告をいただきました！

ファミリーマートコーポレートプログラム ミャンマー学校給食支援

ファミリーマートは国連WFP協会のパートナー企業として、店頭で実施している「ファミリーマート夢の掛け橋募金」でお預かりした募金をミャンマー共和国における学校給食支援プログラムに寄付しています。ミャンマーは世界の中で最貧国にあげられており、人口の37.5%が貧困ライン以下で生活しています。5歳未満のこどもの3人に1人が慢性的栄養失調で、生活のために学校に通えず働く子どもたちがたくさんいます。

国連WFPの学校給食支援プログラムを通して子どもたちが学校に通うようになり、おなかが満たされることで子どもたちが学習に集中できるようになったりするため、学校給食プログラムは、子どもたちの将来の環境を整えることにもつながっています。

7月26日、国連WFPのミャンマー事務所長である、Dom Scalpelli氏が来社し、現地での様子や支援の活用について報告をいただきました。

国連WFPの支援は民族紛争などが原因で支援することが難しい地域へ、学校給食として栄養強化ビスケットを届け、子どもたちの栄養を強化するとともに、継続して学校に通えるよう支援を行っています。

ドム氏からは「金額だけでなく、募金をお寄せいただいたお客様の“届けたいという気持ち”にとっても感謝しています」とお客様への感謝の言葉をお預かりしました。



栄養強化ビスケットを食べるミャンマーの子どもたち



国連WFPミャンマー事務所長ドム氏（下中央）

ご寄付いただいたお客様へ
ファミリーマートを通じてお寄せいただいた多大な寄付により、たくさんのミャンマーの子どもたちが栄養のある学校給食を食べることができております。ご寄付いただいた皆様へ、心より感謝しております。

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。